

2014年3月期 第1四半期決算説明会



スィフトに、走りの楽しさと低燃費を
高次元で両立した新グレードを設定

- ・新開発「デュアルジェット エンジン」
を搭載—低燃費と力強い走りを両立
- ・「エネチャージ」を初めとする低燃費
化技術を小型車で初めて採用
- ・徹底した軽量化と空気抵抗低減

⇒走りを進化させながら、1.2L
以上のガソリン車トップ※1
の低燃費**26.4Km/L**※2を実現

SUZUKI GREEN Technology

DUAL JET ENGINE eNe-CHARGE IDLING STOP eco-COOL TECT

※1 ハイブリッド車を除く。2013年7月現在、スズキ調べ。
※2 JC08モード走行燃費(国土交通省審査値、XG-DJE、XL-DJE、XS-DJE 2WD・CVT車)。
燃料消費率は定められた試験条件での数値。使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急
発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なる。

スズキ株式会社

2013.8.1

- ・ 2期連続増収、利益額・利益率 過去最高（第1四半期決算） （億円）

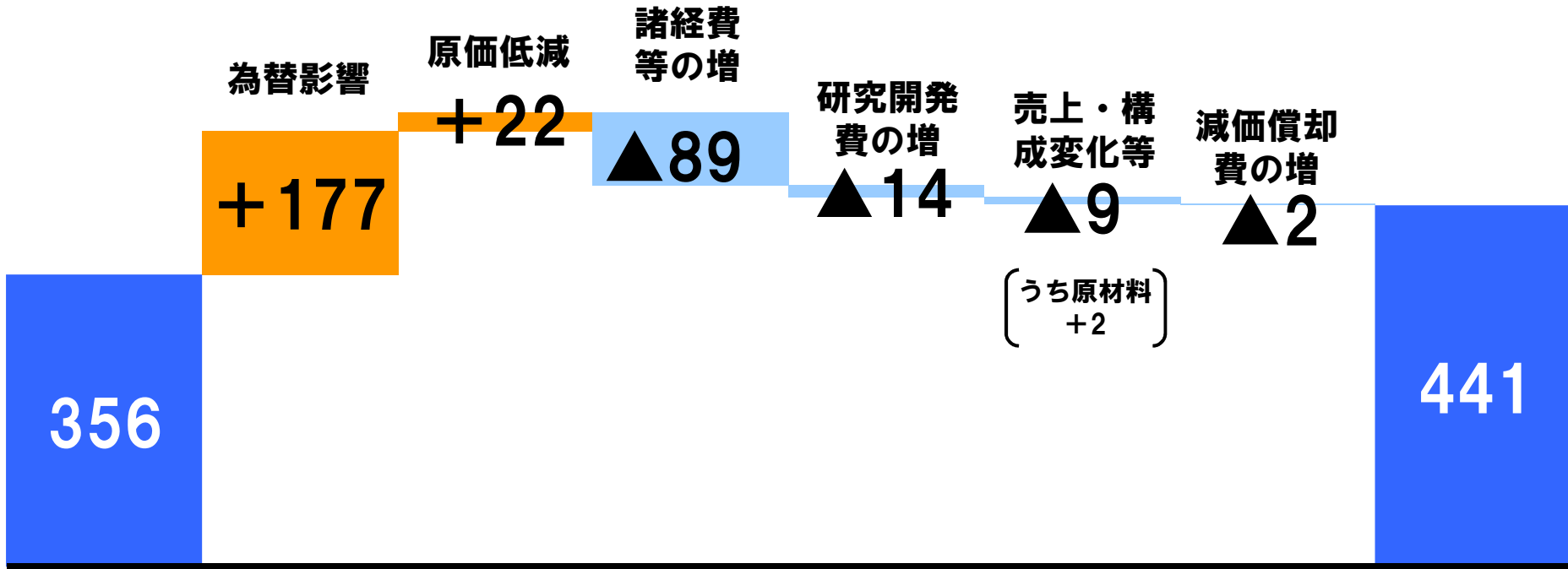
	当第1四半期 (’13/4-6)	前年同期 (’12/4-6)	増 減	
				増減率
売上高	6,758	6,448	+310	+4.8%
国内売上	2,402	2,670	▲268	▲10.0%
自 社	2,160	2,207	▲47	▲2.1%
O E M	242	463	▲221	▲47.8%
海外売上	4,356	3,778	+578	+15.3%
営業利益 (利益率)	441 (6.5%)	356 (5.5%)	+85	+23.7%
経常利益 (利益率)	472 (7.0%)	402 (6.2%)	+70	+17.3%
四半期純利益 (利益率)	270 (4.0%)	245 (3.8%)	+25	+10.5%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	58	56	+2	2,300	2,569	▲269	44	45	▲1	2,402	2,670	▲268	
自 社	58	56	+2	2,058	2,106	▲48	44	45	▲1	2,160	2,207	▲47	
OEM				242	463	▲221				242	463	▲221	
海外計	647	539	+108	3,608	3,150	+458	101	89	+12	4,356	3,778	+578	+668
欧 州	126	87	+39	633	592	+41	30	27	+3	789	706	+83	+137
北 米	131	87	+44	28	132	▲104	51	44	+7	210	263	▲53	+38
アジア	297	249	+48	2,592	2,110	+482	7	5	+2	2,896	2,364	+532	+460
その他	93	116	▲23	355	316	+39	13	13	+0	461	445	+16	+33
総合計	705	595	+110	5,908	5,719	+189	145	134	+11	6,758	6,448	+310	+668
内、為替 換算影響			+101			+551			+16			+668	

※当期・・・2013年4～6月期、前期・・・2012年4～6月期

(億円)



前年同期
営業利益

当第1四半期
営業利益

増益要因 + 199

減益要因 ▲ 114

営業利益 + 85

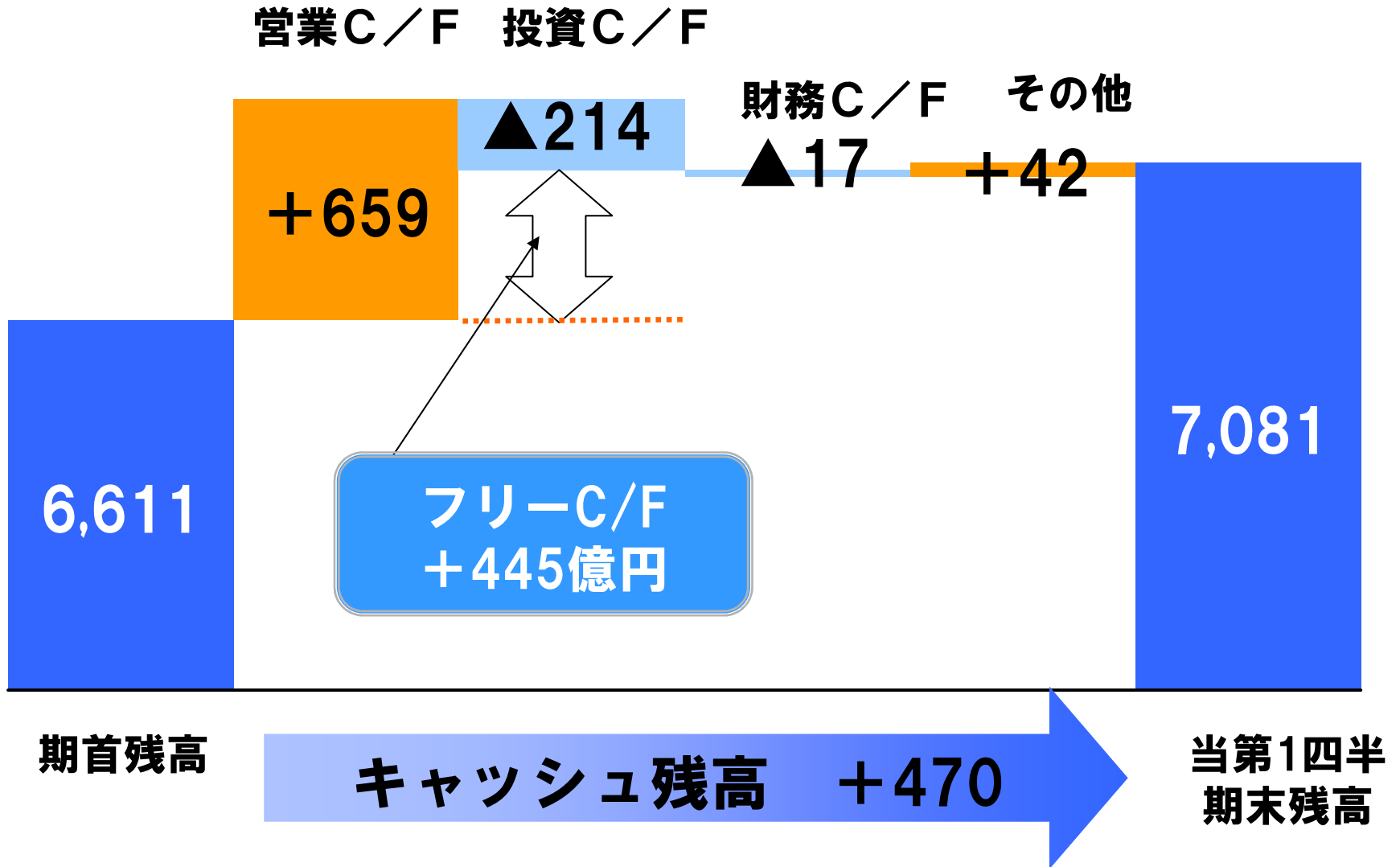
	当第1四半期 (’13/4-6)	前年同期 (’12/4-6)	増減	営業利益 為替影響
米ドル	99円	80円	+19円	+22億円
ユーロ	129円	103円	+26円	+45億円
インドルピー	1.79円	1.50円	+0.29円	+48億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	1.02円	0.87円	+0.15円	+20億円
タイバーツ	3.16円	2.56円	+0.60円	+10億円
その他	—	—	—	+32億円
計				+177億円

(億円)

	当第1四半期 ('13/4-6)	前年同期 ('12/4-6)	増 減
(当社単独)	95	105	▲10
(子会社)	321	223	+98
設備投資	416	328	+88
減価償却費	238	236	+2
研究開発費	252	238	+14

	当第1四半期末 ('13/6末)	前年同期末 ('12/6末)		前期末 ('13/3末)	
			増 減		増 減
有利子負債残高	4,313	4,318	▲5	4,275	+38

(億円)



(億円)

《二輪》

《四輪》

《特機等》

売上高

前年同期

当第1四半期

+110 (+18.5%)

+189 (+3.3%)
5,719 5,908

「営業利益」
「利益率」
過去最高
(第1四半期決算)

+11 (+8.8%)

営業利益

前年同期

当第1四半期

595 705

+8 (赤字縮小)

▲35 ▲27

+73 (+19.3%)

375 448

134 145

+4 (+25.0%)

16 20

前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

(億円)

売上高

前年同期

当第1四半期

営業利益

前年同期

当第1四半期

《日本》
▲129 (▲3.2%)

4,040 3,911

「営業利益」
「利益率」
過去最高
(第1四半期決算)

+33 (+12.0%)

275 308

前年同期 当第1四半期
'12/4-6 '13/4-6

《欧州》

+47 (+7.1%)

662 709

▲13 (赤字拡大)

▲13 ▲26

前年同期 当第1四半期
'12/4-6 '13/4-6

《アジア》

+604 (+25.9%)

2,939

「売上高」
「営業利益」
過去最高
(第1四半期決算)

2,335

+107 (+116.4%)

92 199

前年同期 当第1四半期
'12/4-6 '13/4-6

《その他》

▲26 (▲6.2%)

431 405

▲7 (赤字化)

2 ▲5

前年同期 当第1四半期
'12/4-6 '13/4-6

	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('13/6末)	('12/6末)	増減	('13/3末)	増減
連結 子会社数	135社	135社	±0社	135社	±0社
持分法適用 関連会社数	37社	36社	+1社	37社	±0社
従業員数	56,959人	55,439人	+1,520人	55,948人	+1,011人

(為替レート、販売台数、設備投資等を見直しし、上方修正)

(億円)

	今 回 通期予想	前期比較		前回予想比較		今 回 上期予想
		前期実績	増減	前回予想	増減	
売 上 高	28,000	25,783	+2,217	28,000	± 0	13,000
営 業 利 益	1,650	1,446	+204	1,500	+150	825
経 常 利 益	1,800	1,556	+244	1,650	+150	900
当期純利益	1000	804	+196	900	+100	500
増減要因	為替影響	+420	▲69	+260	+160	
	原価低減	+280	+284	+280	± 0	
	諸経費等の増	▲200	▲288	▲200	± 0	
	減価償却費の増	▲160	+94	▲210	+50	
	研究開発費の増	▲110	▲95	▲110	± 0	
	売上・構成変化等	▲26	+327	+34	▲60	
計	+204	+253	+54	+150		
設 備 投 資	2,400	1,693	+707	2,700	▲300	
減価償却費	1,100	937	+163	1,150	▲50	
研究開発費	1,300	1,193	+107	1,300	± 0	

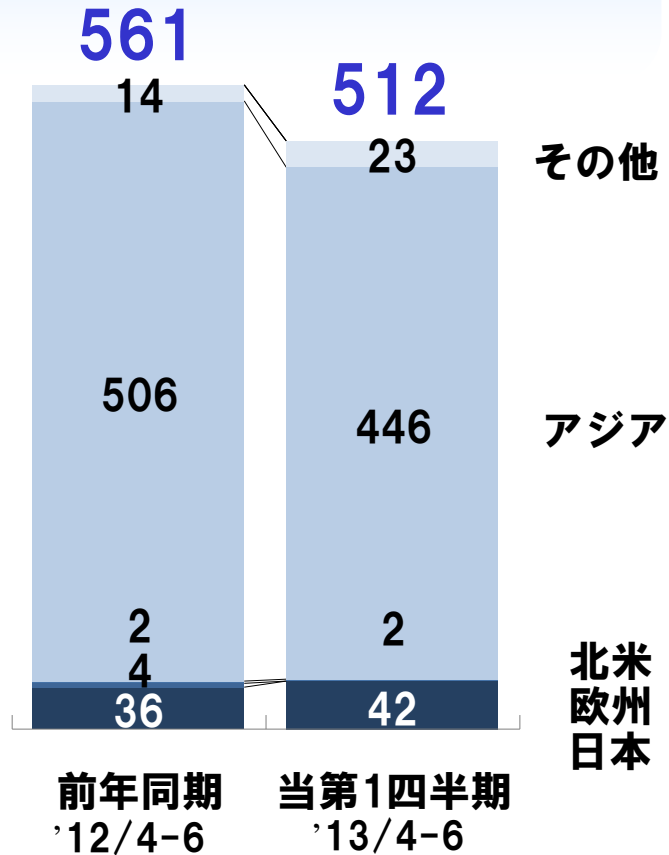
連結：通期業績予想 (為替レート前提)

	今回予想 (2013.4~2014.3)			為替影響	前期比較 (2012.4~2013.3)		前回予想比較 (2013.4~2014.3)	
	第1四半期	2Q以降	通期予想		通期実績	増減	通期予想	増減
米ドル	99円	95円	96円	+69億円	83円	+13円	90円	+6円
ユーロ	129円	125円	126円	+138億円	107円	+19円	120円	+6円
インドルピー	1.79円	1.60円	1.65円	+73億円	1.54円	+0.11円	1.70円	▲0.05円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	1.02円	0.95円	0.97円	+51億円	0.88円	+0.09円	0.93円	+0.04円
タイバーツ	3.16円	3.00円	3.10円	+20億円	2.62円	+0.48円	3.10円	±0.00円
	その他通貨			+69億円				
	為替影響額 計			+420億円				

(千台)

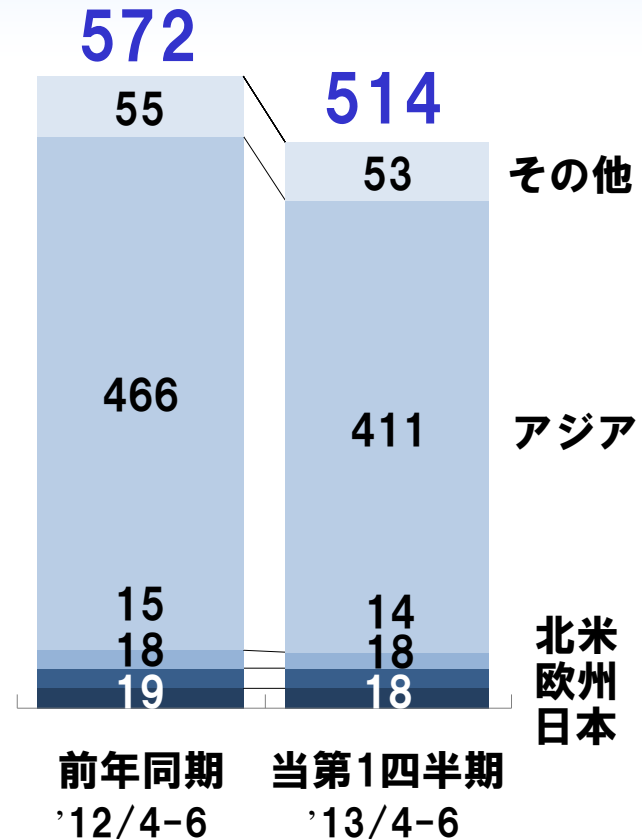
《第1四半期 生産台数》

▲50千台(▲8.9%)



《第1四半期 販売台数》

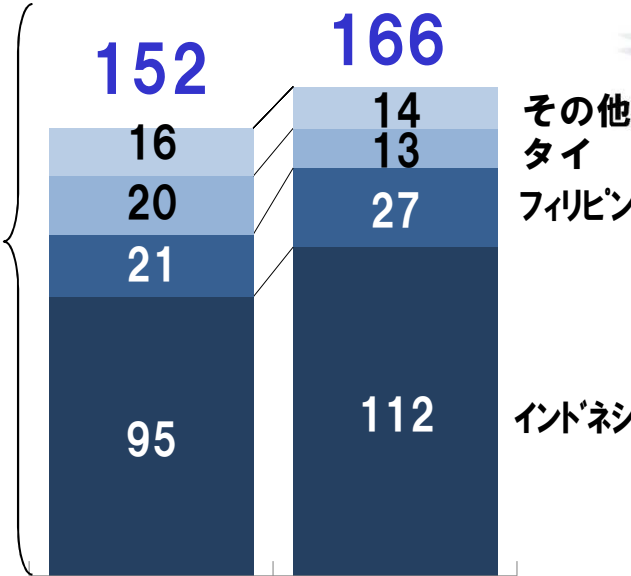
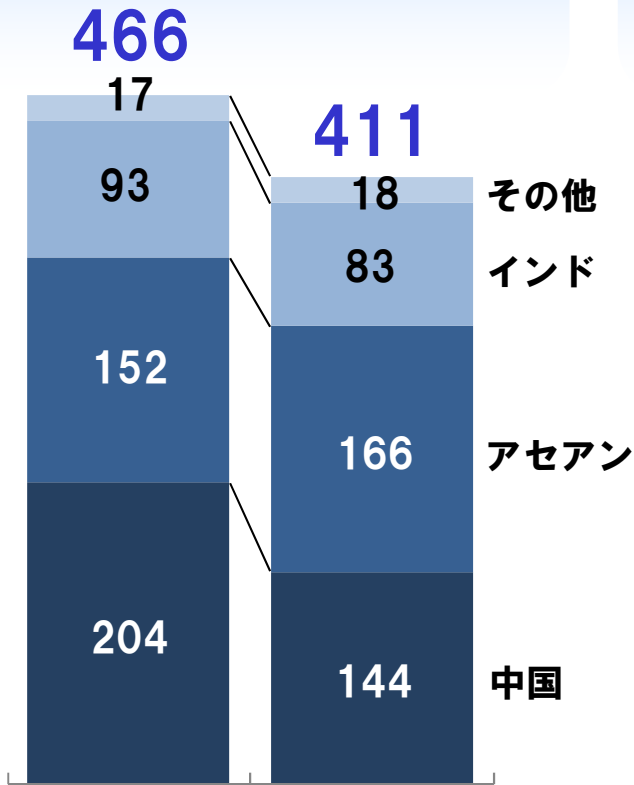
▲58千台(▲10.2%)



《第1四半期実績》
▲54千台(▲11.7%)

《アセアンの内訳》
+14千台(+8.9%)

(千台)



SHOOTER (Indonesia)

- ・5月インドネシアで販売開始
- ・クラス初の燃料噴射装置採用
- ・大幅燃費改善
(当社同クラス比3割改善)
- ・高い走行性能
(軽量、高強度フレーム)
- ・利便性向上
(シート下収納スペース、大型ヘッドライト採用等)

前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

※アセアン:インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

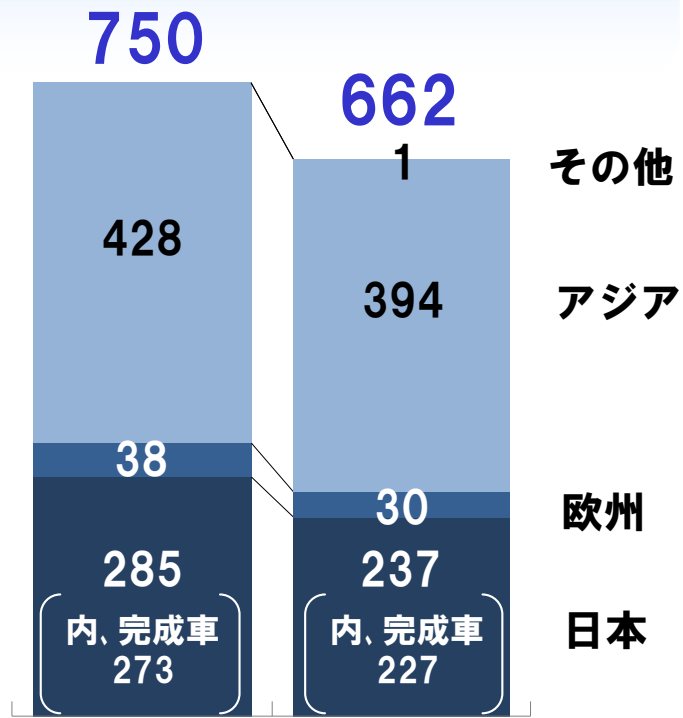
- ロードレース世界選手権（MotoGP）に、2015年より復帰。
- 2012年以降MotoGPの参戦を休止していたが、カタロニア（スペイン）で行われた合同テストに参加。
- 今後は、各国のサーキットで走行テストを行いながら、技術開発と熟成を図り、2015年より参戦する計画。
- MotoGP のレース活動を通して得られる技術を量産車開発に還元し、より魅力的な商品の開発を進めていく。



(千台)

《第1四半期 生産台数》

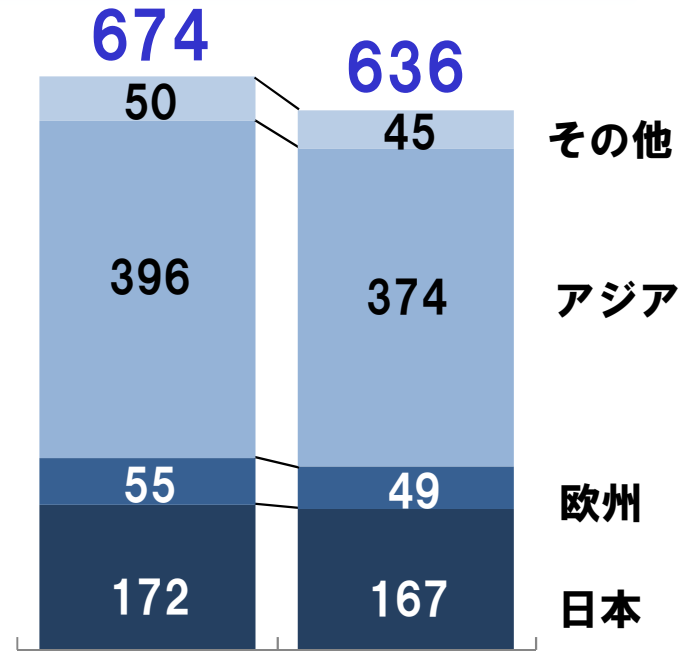
▲89千台(▲11.8%)



前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

《第1四半期 販売台数》

▲38千台(▲5.7%)

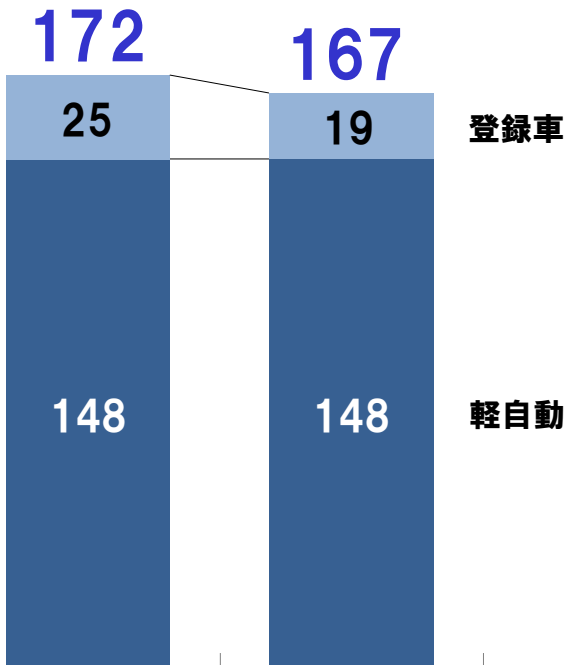


前年同期 '12/4-6 当第1四半期 '13/4-6

《第1四半期実績》

▲5千台(▲2.9%)

(千台)



スぺーシア カスタム

- ・6月、スぺーシアにカスタムを追加設定
- ・ターボ車でクラストップ※1の低燃費26km/L※2を達成

アルトラパン ショコラ

- ・女性好みのデザインにこだわった軽乗用車
- ・愛らしいスタイルとアクセサリ感覚の精緻なデザイン、スイーツ感覚の色彩表現



前年同期
'12/4-6

当第1四半期
'13/4-6

※1 全高1,700mm以上のハイト型2BOX軽自動車(2013年6月現在、スズキ調べ)尚、7月発売のワゴンR、MRワゴンのターボ車は27km/L※2を達成。

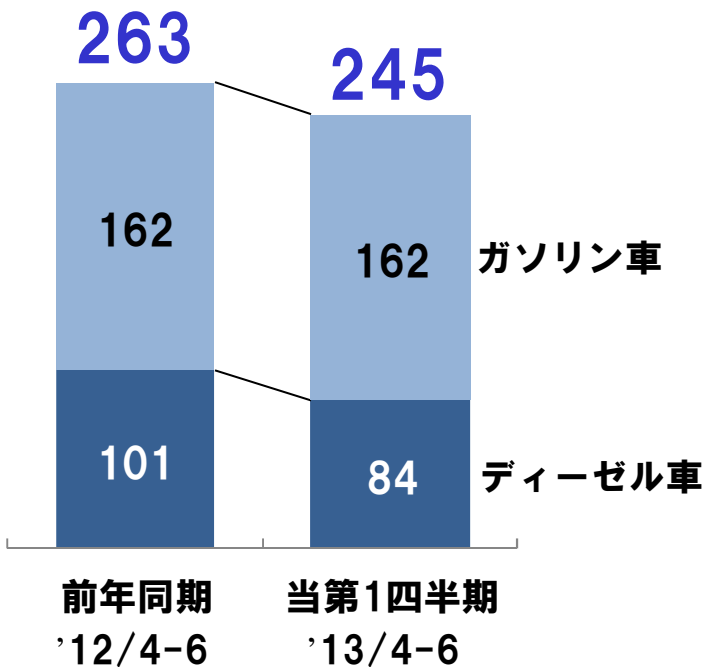
※2 JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)。燃料消費率は定められた試験条件での数値。使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なる。

《第1四半期実績》

▲18千台(▲6.8%)

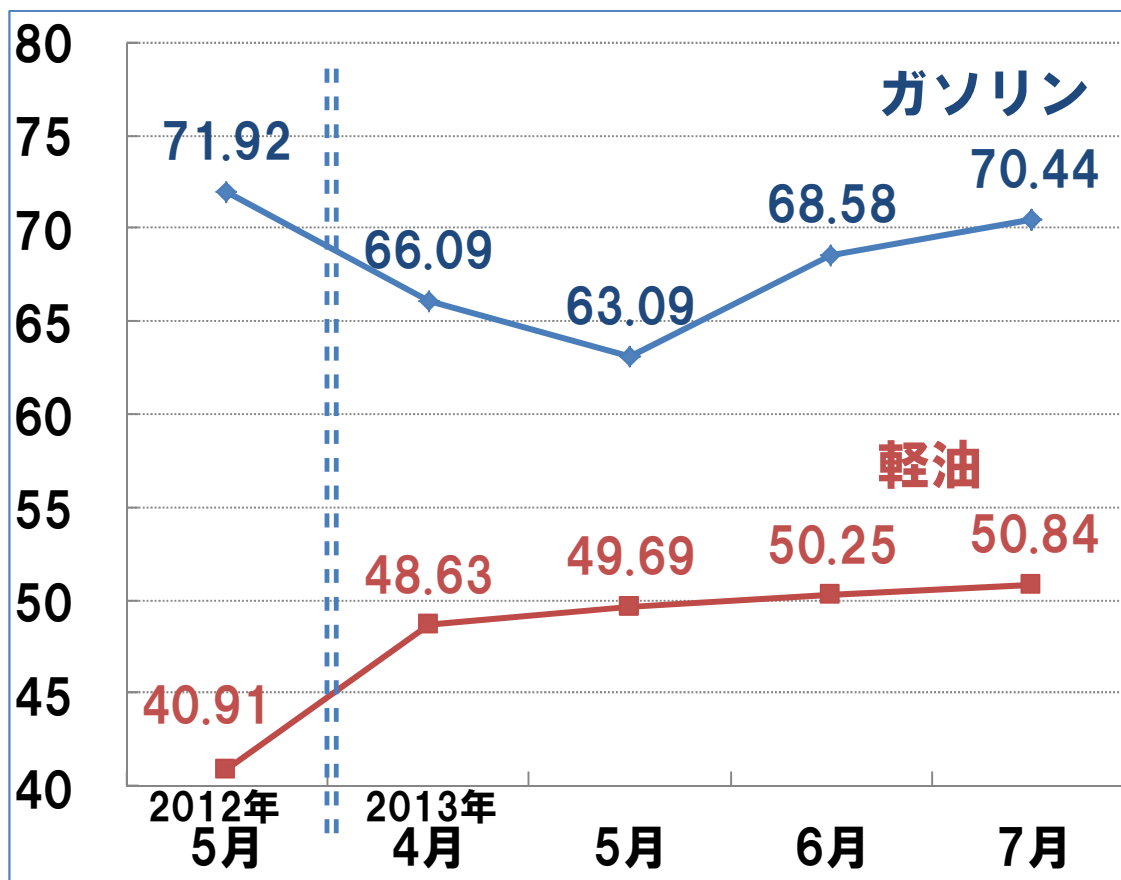
38%
ディーゼル車割合
34%

(千台)



＜インド 燃料価格の推移＞

(インドルピー/L)

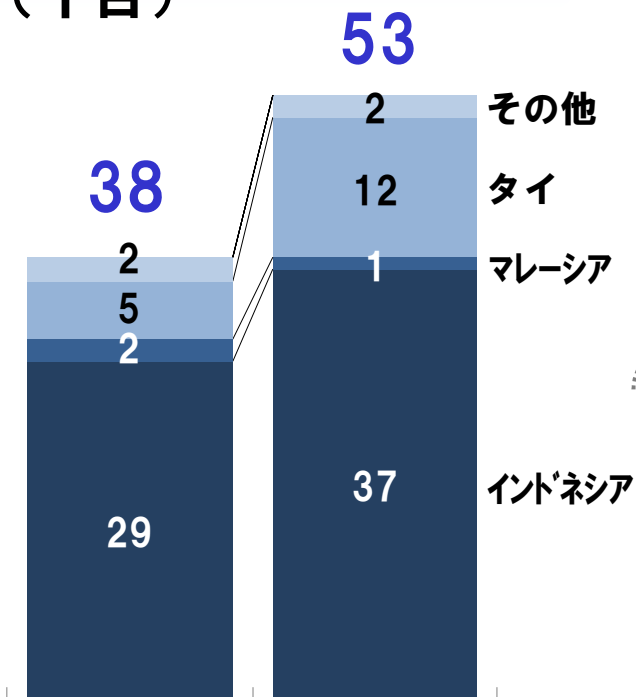


※ニューデリー価格(月末時点)、2013年7月は26日現在の価格

《第1四半期実績》

+15千台(+38.6%)

(千台)



前年同期
'12/4-6

当第1四半期
'13/4-6



Swift (Thailand)

Ertiga (Indonesia)

- ・5月、AT車を追加し、さらに商品性アップ



(5月9日公表から変更)

(千台)

	通期生産台数				
	予想 (13年度)	前期実績 (12年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

	通期販売台数				
	予想 (13年度)	前期実績 (12年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

<二輪車>

日本	190	169	+21	+12.7%	▲1
欧州	—	13	▲13	—	—
北米	7	6	+1	+21.6%	+1
アジア	2,017	1,992	+25	+1.2%	▲343
その他	119	90	+29	+32.3%	▲7
合計	2,333	2,269	+64	+2.8%	▲350

73	76	▲3	-4.1%	▲5
51	47	+4	+8.3%	+2
56	44	+12	+26.2%	▲4
1,933	1,911	+22	+1.1%	▲313
238	233	+5	+2.2%	▲8
2,351	2,312	+39	+1.7%	▲328

<四輪車>

日本	943	1,044	▲101	-9.7%	±0
欧州	176	151	+25	+16.7%	±0
アジア	1,778	1,683	+95	+5.6%	▲69
その他	2	0	+2	—	±0
合計	2,899	2,878	+21	+0.7%	▲69

660	672	▲12	-1.8%	±0
220	197	+23	+11.8%	±0
1,681	1,588	+93	+5.9%	▲75
165	204	▲39	-19.1%	▲2
2,726	2,660	+66	+2.5%	▲77

2014年3月期 第1四半期決算説明会

先進テクノロジーが、あなたをつつむ。

NEWワゴンR誕生

eNE-CHARGE
軽ワゴン
低燃費No.1^{※1}
燃料消費率(国土交通省審査値)
JC08モード^{※2}
30.0km/L^{※2}
2WD・CVT車

レーダー
ブレーキサポート
搭載^{※3}
[衝突被害軽減ブレーキ]
(メーカーオプション)



NEWワゴンRは、エコカー減税で免税対象車^{※4}

ワゴンR 20周年

- 1993年の発売から**20周年**
- 今回の改良により、軽ワゴントップ^{※1}の低燃費**30km/L**^{※2}を達成
- 衝突被害軽減ブレーキ、誤発進抑制機能など先進の安全技術を搭載^{※3}

※1 全高1,550mm以上の軽自動車(2013年7月現在、スズキ調べ)
2WD・CVT車。尚、MRワゴン(一部グレードも同率)。

※2 JC08モード走行燃費(国土交通省審査値)。燃料消費率は定められた試験条件での数値。使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なる。

※3 5MT車以外に搭載車を設定。

スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。